

大学番号：私078

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

届出

芝浦工業大学大学院 理工学研究科国際理工学専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人芝浦工業大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 豊洲学事部大学院・MOT事務課

電話番号 03-5859-7420

（夜間） 03-5859-7420

F A X 03-5859-7421

e-mail daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

<国際理工学専攻（修士課程）>

1. 調査対象大学等の概要等
2. 授業科目の概要
3. 施設・設備の整備状況、経費
4. AC対象学部等を含む大学等の状況
5. 教員組織の状況
6. 留意事項等に対する履行状況等
7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 芝浦工業大学

(2) 大学名

芝浦工業大学

(3) 大学の位置

〒135-8548
東京都江東区豊洲3丁目7番5号
〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307
(〒108-8548
東京都港区芝浦3丁目9番14号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イガラシ ヒサヤ) 五十嵐 久也 (平成22年6月)		
学長	(ムラカミ マサト) 村上 雅人 (平成24年4月)		
研究科長	(タカサキ アキト) 高崎 明人 (平成27年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)
平成30年度に報告する内容 → (30)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 国際理工学専攻(修士課程) 修士(理工学)	工学関係 理学関係	2年	10人	20人	基礎となる学部等【工学部】 機械工学科、機械機能工学科、材料工学科、応用化学科、電気工学科、通信工学科、電子工学科、土木工学科、建築学科、建築工学科、情報工学科 【システム工学部】 電子情報システム学科、機械制御システム学科、環境システム学科、生命科学科、数理科学科 【デザイン工学部】 デザイン工学科 【建築学部】 建築学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	10人 10 (-) [-]	人 () []	10人 (-) [-]	人 (-) [-]	0.65倍	
志願者数	() []	() []	10 (0) [8]	4 (0) [3]	4 (0) [2]	- [-]		
受験者数	() []	() []	10 (0) [8]	4 (0) [3]	4 (0) [2]	- [-]		
合格者数	() []	() []	10 (0) [8]	4 (0) [3]	4 (0) [2]	- [-]		
B 入学者数	() []	() []	9 (0) [8]	3 (0) [3]	4 (0) [2]	- [-]		
入学定員超過率 B/A			0.90		0.40			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	9 [8] ()	3 [3] ()	4 [2] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	9 [8] ()	3 [3] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	
計					12 [11]	16 [13]	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<理工学研究科 国際理工学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	国際理工学研究(研究指導)	1前	—	—	—	8	1					
	特別演習1	1前	1			8	1					
	特別演習2	1前	1			8	1					
	特別演習3	1後	1			8	1					
	特別演習4	1後	1			8	1					
	特別演習5	2前	1			8	1					
	特別演習6	2前	1			8	1					
	特別演習7	2後	1			8	1					
	特別演習8	2後	1			8	1					
	特別実験1	1前	1			8	1					
	特別実験2	1後	1			8	1					
	特別実験3	2前	1			8	1					
	特別実験4	2後	1			8	1					
	授業科目	国際理工学特論	1前	2			3	1				
海外プロジェクト研究		1・2前後	2			1						
Material Science for Engineering		1前	2			1						
High Pressure Science		1前	2			1						
Structural Inorganic Chemistry under High-Pressure		1後	2			1						
Synthetic Methods of Inorganic Materials		1後	2			1						
Materials for Energy and Environment		1前	2			1						
How to Write and Publish a Scientific Paper at International Journals		1前	2			1						
Advances in Superconducting Cable Technology and its Applications		1前	2			1						
Superconducting Materials: Synthesis and Characterization		1後	2			1						
Mathematics for Electrical and Electronics Engineering		1前	2			1						
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 1		1前	2			1						
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 2		1後	2			1						
General and Sustainable Chemistry		1前	2			1						
Basic Molecular Spectroscopy		1前	2			1						
Advanced Spectroscopy		1後	2			1						
Micro Mechatronics	1後	2			1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	国際理工学研究(研究指導)	1前	—	—	—	8	1					
	特別演習1	1前	1			8	1					
	特別演習2	1前	1			8	1					
	特別演習3	1後	1			8	1					
	特別演習4	1後	1			8	1					
	特別演習5	2前	1			8	1					
	特別演習6	2前	1			8	1					
	特別演習7	2後	1			8	1					
	特別演習8	2後	1			8	1					
	特別実験1	1前	1			8	1					
	特別実験2	1後	1			8	1					
	特別実験3	2前	1			8	1					
	特別実験4	2後	1			8	1					
	授業科目	国際理工学特論	1前	2			3	1				
海外プロジェクト研究		1・2前後	2			1						
Material Science for Engineering		1前	2			1						
High Pressure Science		1前	2			1						
Structural Inorganic Chemistry under High-Pressure		1後	2			1						
Synthetic Methods of Inorganic Materials		1後	2			1						
Materials for Energy and Environment		1後	2			1						
How to Write and Publish a Scientific Paper at International Journals		1前	2			1						
Advances in Superconducting Cable Technology and its Applications		1後	2			1						
Superconducting Materials: Synthesis and Characterization		1前	2			1						
Mathematics for Electrical and Electronics Engineering		1前	2			1						
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 1		1前	2			1						
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 2		1後	2			1						
General and Sustainable Chemistry		1前	2			1						
Basic Molecular Spectroscopy		1前	2			1						
Advanced Spectroscopy		1前	2			1						
Micro Mechatronics	1後	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
授業科目	Ubiquitous Computing System	1前	2		1							
	Advanced Materials Science	1後	2		1							
	Statistical Signal Processing	1前	2		1							
	Data Communication Network	1後	2		1							
	Electronic Circuits and Systems	1後	2			1						
	Advanced PM Machine, Structure and Control	1後	2								兼1	
	Autonomous Mobile Robot System	1前	2								兼1	
	Advanced Power System	1前	2								兼1	
	Epitaxial Semiconductor Materials	1前	2								兼1	
	Advanced Electronic Circuit	1後	2								兼1	
	Advances in High Voltage and Power Apparatus Engineering	1前	2								兼1	
	Advanced Bioelectronics	1後	2								兼1	
	Advanced Quantum-Beam Applications	1後	2								兼1	
	Electric Power Control	1前	2								兼1	
	Nano Devices and Materials	1前	2								兼1	
	Optical Fiber Engineering	1後	2								兼1	
	Robot Task & System	1後	2								兼1	
	Wireless Communications Network	1前	2								兼1	
	Topics in Data Engineering	1後	2								兼1	
	Mobile Communication Networks	1前	2								兼1	
Advanced Information System Engineering	1前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
授業科目	Ubiquitous Computing System	1後	2		1							
	Advanced Materials Science	1後	2		1							
	Statistical Signal Processing	1前	2		1							
	Data Communication Network	1後	2		1							
	Electronic Circuits and Systems	1前	2			1						
	Advanced PM Machine, Structure and Control	1前	2								兼1	
	Autonomous Mobile Robot System	1前	2								兼1	
	Advanced Power System	1前	2								兼1	
	Epitaxial Semiconductor Materials	1前	2								兼1	
	Advanced Electronic Circuit	1後	2								兼1	
	Advances in High Voltage and Power Apparatus Engineering	1前	2								兼1	
	Advanced Bioelectronics	1後	2								兼1	
	Advanced Quantum-Beam Applications	1後	2								兼1	
	Electric Power Control	1前	2								兼1	
	Nano Devices and Materials	1前	2								兼1	
	Optical Fiber Engineering	1後	2								兼1	
	Robot Task & System	1後	2								兼1	
	Wireless Communications Network	1前	2								兼1	
	Topics in Data Engineering	1後	2								兼1	
	Mobile Communication Networks	1前	2								兼1	
Advanced Information System Engineering	1前	2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Advanced Computer Architecture	1後	2								兼1
	Advanced Neural Engineering	1前	2								兼1
	Advanced Antenna Engineering	1前	2								兼1
	High Functional Materials	1後	2								兼1
	Materials Chemistry	1後	2								兼1
	Thin Film Physics	1後	2								兼1
	Methods in Bio-inspired Nanomaterial Science	1前	2								兼1
	Basic Physics in Electron Microscopy	1前	2								兼1
	Bioelectronics Based on Chemical Engineering	1後	2								兼1
	Environmental Analytical Chemistry	1前	2								兼1
	Bioorganic Photochemistry	1後	2								兼1
	Chemical Biology	1前	2								兼1
	Life Science	1後	2								兼1
	Energy and Water Treatment Based on Chemical Engineering	1前	2								兼1
	Inorganic Materials Chemistry	1後	2								兼1
	Basic Electrochemistry	1後	2								兼1
	Organic Stereochemistry	1前	2								兼1
	Neuro-Rehabilitation Engineering	1前	2								兼1
	Human-Centric Robotics	1前	2								兼1
	Microscale Fluid Mechanics	1後	2								兼1
Biomechanics & Injury Prevention	1前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Advanced Computer Architecture	1後	2								兼1
	Advanced Neural Engineering	1前	2								兼1
	Advanced Antenna Engineering	1前	2								兼1
	High Functional Materials	1後	2								兼1
	Materials Chemistry	1後	2								兼1
	Thin Film Physics	1後	2								兼1
	Methods in Bio-inspired Nanomaterial Science	1前	2								兼1
	Basic Physics in Electron Microscopy	1前	2								兼1
	Bioelectronics Based on Chemical Engineering	1後	2								兼1
	Environmental Analytical Chemistry	1前	2								兼1
	Bioorganic Photochemistry	1後	2								兼1
	Chemical Biology	1後	2								兼1
	Life Science	1後	2								兼1
	Energy and Water Treatment Based on Chemical Engineering	1後	2								兼1
	Inorganic Materials Chemistry	1後	2								兼1
	Basic Electrochemistry	1後	2								兼1
	Organic Stereochemistry	1前	2								兼1
	Neuro-Rehabilitation Engineering	1前	2								兼1
	Human-Centric Robotics	1前	2								兼1
	Microscale Fluid Mechanics	1後	2								兼1
Biomechanics & Injury Prevention	1前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Experimental Thermo-fluid Engineering	1後	2								兼1
	Architectural Design Theory and Method	1前	2								兼1
	Architectural Design Theory and Method-Advanced	1後	2								兼1
	Building Construction System and Construction Technologies in Japan	1前	2								兼2
	Architectural Planning	1前	2								兼1
	Life Cycle Design and Management of Housing	1後	2								兼1
	gPBL in Asia	1通	2								兼1
	gPBL in Europe	1通	2								兼1
	History of Architecture and Urban Design	1前	2								兼1
	Urban Planning and Design	1後	2								兼1
	Spatial Planning for Disaster Risk Reduction	1前	2								兼1
	Embedded Systems Engineering	1後	2								兼1
	Ubiquitous Networking System	1前	2								兼1
	Control Systems Engineering	1後	2								兼1
	Computational Models	1後	2								兼1
	Engineering Optimization	1後	2								兼1
	Robotics for Medical and Rehabilitation Field	1後	2								兼1
	Cardiovascular Engineering	1前	2								兼1
	Neurophysiology and Rehabilitation Engineering	1後	2								兼1
Welfare Engineering	1後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Experimental Thermo-fluid Engineering	1後	2								兼1
	Architectural Design Theory and Method	1後	2								兼1
	Architectural Design Theory and Method-Advanced	1後	2								兼1
	Architectural Design Theory and Practice	1後	2								兼1
	Building Construction System and Construction Technologies in Japan	1後	2								兼1
	Architectural Planning	1前	2								兼1
	Life Cycle Design and Management of Housing	1後	2								兼1
	gPBL in Asia	1通	2								兼1
	gPBL in Europe	1通	2								兼1
	History of Architecture and Urban Design	1後	2								兼1
	Urban Planning and Design	1後	2								兼1
	Spatial Planning for Disaster Risk Reduction	1前	2								兼1
	Embedded Systems Engineering	1後	2								兼1
	Ubiquitous Networking System	1前	2								兼1
	Control Systems Engineering	1後	2								兼1
	Computational Models	1後	2								兼1
	Engineering Optimization	1後	2								兼1
	Robotics for Medical and Rehabilitation Field	1後	2								兼1
	Cardiovascular Engineering	1前	2								兼1
Neurophysiology and Rehabilitation Engineering	1後	2								兼1	
Welfare Engineering	1後	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Advanced Biofluid Engineering	1前	2								兼1
	Topics in Mathematics	1前	2								兼1
	Digital Control Systems	1前	2								兼1
	Language Communication Studies in Engineering	1後	2								兼1
	Advanced Driver Assistance Systems	1後	2								兼1
	Adaptive and Optimal Control	1前	2								兼1
授業科目・副専攻プログラム	科学コミュニケーション学	1通	2								兼1
	Advanced Research Paper Writing & Presentation	1前・後	2								兼1
	Global Engineering Management/国際技術経営工学	1後	2								兼1
	Global Internship/国際インターンシップ	1通	2								兼1
	Intensive Workshop/先端工学・技術経営融合型ワークショップ	1後	2								兼5
	Management of Intellectual Property/知的財産経営論	1後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目	Advanced Biofluid Engineering	1前	2								兼1
	Topics in Mathematics	1前	2								兼1
	Topics in Mathematical Control	1前	2								兼1
	Digital Control Systems	1前	2								兼1
	Language Communication Studies in Engineering	1前	2								兼1
	Advanced Driver Assistance Systems	1後	2								兼1
授業科目・副専攻プログラム	Adaptive and Optimal Control	1前	2								兼1
	Urban and Regional Development in Information Age	1後	2								兼1
	科学コミュニケーション学	1通	2								兼1
	Advanced Research Paper Writing & Presentation	1後	2								兼1
	Global Engineering Management/国際技術経営工学	1後	2								兼1
	Global Internship/国際インターンシップ	1通	2								兼1
副専攻プログラム	Intensive Workshop/先端工学・技術経営融合型ワークショップ	1後	2								兼1
	Management of Intellectual Property/知的財産経営論	1後	2								兼1
	International Marketing	1後	2								兼1
	Management of Innovation/イノベーション・マネジメント論	1前	2								兼1
	プロジェクトマネジメント	1後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目・全専攻共通科目	国際PBL	1後		2							兼5
	産学・地域連携PBL	1後		2							兼5
	理系英語論文の読解と応用	1前		2							兼1
	Instrumental Analysis in Materials Characterization	1前		2		1					
	Surface and Interface Science	1後		2		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
授業科目・全専攻共通科目	国際PBL	1後		2							兼3
	産学・地域連携PBL	1後		2							兼3
	理系英語論文の読解と応用	1前		2							兼1
	Instrumental Analysis in Materials Characterization	1前		2		1					
	Surface and Interface Science	1後		2		1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導科目	国際理工学研究(研究指導)		-	-	-	8	1					
	特別演習1	1前	1			8	1					
	特別演習2	1前	1			8	1					
	特別演習3	1後	1			8	1					
	特別演習4	1後	1			8	1					
	特別演習5	2前	1			8	1					
	特別演習6	2前	1			8	1					
	特別演習7	2後	1			8	1					
	特別演習8	2後	1			8	1					
	特別実験1	1前	1			8	1					
	特別実験2	1後	1			8	1					
	特別実験3	2前	1			8	1					
	特別実験4	2後	1			8	1					
	授業科目	国際理工学特論	1前	2			3	1				
海外プロジェクト研究		1-2前後		2		1						
Material Science for Engineering		1前		2		1						
High Pressure Science		1前		2		1						
Structural Inorganic Chemistry under High-Pressure		1後		2		1						
High-Pressure Synthetic Methods of Inorganic Materials		1後		2		1						
Materials for Energy and Environment		1後		2		1						
How to Write and Publish a Scientific Paper at International Journals		1前		2		1						
Advances in Superconducting Cable Technology and its Applications		1後		2		1						
Superconducting Materials: Synthesis and Characterization		1前		2		1						
Mathematics for Electrical and Electronics Engineering		1前		2			1					
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 1		1前		2				1				
Intensive course on Integrated Circuits Analysis and Design 2		1後		2					1			
General and Sustainable Chemistry		1前		2		1						
Basic Molecular Spectroscopy		1前		2		1						
Advanced Spectroscopy		1前		2		1						
Micro Mechatronics		1後		2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
授 業 科 目	Ubiquitous Computing System	1前	2			1					
	Advanced Materials Science	1後	2			1					
	Statistical Signal Processing	1前	2			1					
	Data Communication Network	1後	2			1					
	Electronic Circuits and Systems	1前	2				1				
	Advanced PM Machine, Structure and Control	1後	2								兼1
	Autonomous Mobile Robot System	1前	2								兼1
	Advanced Power System	1前	2								兼1
	Epitaxial Semiconductor Materials	1前	2								兼1
	Advanced Electronic Circuit	1後	2								兼1
	Advances in High Voltage and Power Apparatus Engineering	1前	2								兼1
	Advanced Bioelectronics	1後	2								兼1
	Advanced Quantum-Beam Applications	1後	2								兼1
	Electric Power Control	1前	2								兼1
	Nano Devices and Materials	1前	2								兼1
	Optical Fiber Engineering	1後	2								兼1
	Robot Task & System	1後	2								兼1
	Wireless Communications Network	1前	2								兼1
	Topics in Data Engineering	1後	2								兼1
	Mobile Communication Networks	1前	2								兼1
Advanced Information System Engineering	1前	2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
授業科目	Advanced Computer Architecture	1後		2							兼1
	Advanced Neural Engineering	1前		2							兼1
	Advanced Antenna Engineering	1前		2							兼1
	High Functional Materials	1後		2							兼1
	Materials Chemistry	1後		2							兼1
	Thin Film Physics	1後		2							兼1
	Methods in Bio-inspired Nanomaterial Science	1前		2							兼1
	Basic Physics in Electron Microscopy	1前		2							兼1
	Bioelectronics Based on Chemical Engineering	1後		2							兼1
	Environmental Analytical Chemistry	1前		2							兼1
	Bioorganic Photochemistry	1後		2							兼1
	Chemical Biology	1後		2							兼1
	Life Science	1後		2							兼1
	Energy and Water Treatment Based on Chemical Engineering	1後		2							兼1
	Inorganic Materials Chemistry	1後		2							兼1
	Basic Electrochemistry	1後		2							兼1
	Organic Stereochemistry	1前		2							兼1
	Neuro-Rehabilitation Engineering	1前		2							兼1
	Human-Centric Robotics	1前		2							兼1
	Microscale Fluid Mechanics	1後		2							兼1
Biomechanics & Injury Prevention	1前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
授業科目	Experimental Thermo-fluid Engineering	1後		2								兼1
	Architectural Design Theory and Method	1後		2								兼1
	Architectural Design Theory and Method-Advanced	1後		2								兼1
	Architectural Design Theory and Practice	1後		2								兼1
	Building Construction System and Construction Technologies in Japan	1前		2								兼1
	Architectural Planning	1前		2								兼1
	Life Cycle Design and Management of Housing	1後		2								兼1
	gPBL in Asia	1通		2								兼1
	gPBL in Europe	1通		2								兼1
	History of Architecture and Urban Design	1後		2								兼1
	Urban Planning and Design	1後		2								兼1
	Spatial Planning for Disaster Risk Reduction	1前		2								兼1
	Embedded Systems Engineering	1後		2								兼1
	Ubiquitous Networking System	1前		2								兼1
	Control Systems Engineering	1後		2								兼1
	Computational Models	1後		2								兼1
	Engineering Optimization	1後		2								兼1
	Robotics for Medical and Rehabilitation Field	1後		2								兼1
	Cardiovascular Engineering	1前		2								兼1
	Neurophysiology and Rehabilitation Engineering	1後		2								兼1
Welfare Engineering	1後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
授業科目	Advanced Biofluid Engineering	1前		2							兼1
	Topics in Mathematics	1前		2							兼1
	Topics in Mathematical Control	1前		2							兼1
	Digital Control Systems	1前		2							兼1
	Language Communication Studies in Engineering	1前		2							兼1
	Advanced Driver Assistance Systems	1後		2							兼1
	Adaptive and Optimal Control	1前		2							兼1
授業科目・副専攻プログラム	科学コミュニケーション学	1通		2							
	Advanced Research Paper Writing & Presentation	1前・後		2							兼1
	Global Engineering Management/国際技術経営工学	1後		2							
	Global Internship/国際インターンシップ	1通		2							
	Intensive Workshop/先端工学・技術経営融合型ワークショップ	1後		2							
	Management of Intellectual Property/知的財産経営論	1後		2							兼1
	International Marketing	1通		2							兼1
	Management of Innovation/イノベーション・マネジメント論	1後		2							兼1
プロジェクトマネジメント	1後		2							兼1	
授業科目・全専攻共通科目	国際PBL	1後		2							兼5
	産学・地域連携PBL	1後		2							兼5
	理系英語論文の読解と応用	1前		2							兼1
	Instrumental Analysis in Materials Characterization	1前		2		1					
	Surface and Interface Science	1後		2		1					

・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・科目の統合の理由により、「Architectural Design Theory and Method」を廃止。
- ・科目の統合の理由により、「Architectural Design Theory and Method Advanced」を廃止。
- ・教育内容の充実の理由により、「Architectural Design Theory and Practice」を追加。
- ・授業内容の検討や時間割調整の理由により、「Building Construction System and Construction Technologies in Japan」を未開講。
- ・授業内容の検討や時間割調整の理由により、「Life Cycle Design and Management of Housing」を未開講。
- ・授業内容の充実と科目名を授業に合わせる理由により、「Digital Control Systems」から「Topics in Mathematical Control」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「International Marketing」を追加。
- ・教育内容の充実の理由により、「Management of Innovation/イノベーション・マネジメント論」を追加。
- ・教育内容の充実の理由により、「プロジェクトマネジメント」を追加。

【平成30年度】

- ・授業内容の検討や時間割調整の理由により、「High Functional Materials」を未開講。
- ・授業担当者の変更のため、「Ubiquitous Networking System」を廃止。
- ・授業担当者の死亡退職により、「Robotics for Medical and Rehabilitation Field」を廃止。
- ・授業担当者の退職により、「Cardiovascular Engineering」を廃止。
- ・教育内容の充実の理由により、「Urban and Regional Development in Information Age」を追加。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	95 科目	0 科目	108 科目	13 科目 [0]	96 科目 [1]	0 科目 [0]	109 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	High Functional Materials	2	1後	専門	選択	授業内容の検討や時間割調整の結果、平成30年度は未開講となった。しかし、平成31年度は開講予定である。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	Ubiquitous Networking System	2	1前	専門	選択	授業担当者の変更のため廃止。
2	Robotics for Medical and Rehabilitation Field	2	1後	専門	選択	授業を担当する教員の死亡退職のため廃止。
3	Cardiovascular Engineering	2	1前	専門	選択	授業を担当する教員の退職のため廃止。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

本年度開講科目については、ガイダンスやWEBシラバスや授業時間割、掲示等にて周知を行っている。未開講科目は、翌年度実施予定とし、本年度入学生への在学中での履修機会は設けている。廃止科目は、廃止科目の内容を同分野の他の授業科目の内容に盛り込む等の対応をしている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{108} = \boxed{2.77} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	芝浦工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.08	昭和24年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区 大字深作307番地	H29.4より15名定員増
機械機能工学科	4	115	-	460	学士(機械機能工学)	1.21	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
材料工学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.08	昭和31年度	同上	H29.4より15名定員増
応用化学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.09	昭和29年度	同上	H29.4より15名定員増
電気工学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.05	昭和25年度	同上	H29.4より15名定員増
通信工学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.03	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増 H30.4より名称変更
電子工学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.07	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
土木工学科	4	105	-	420	学士(工学)	1.08	昭和24年度	同上	H29.4より15名定員増
建築学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	昭和29年度	同上	H29.4より募集停止
建築工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	昭和41年度	同上	H29.4より募集停止
情報工学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.08	昭和41年度	同上	H29.4より15名定員増
システム理工学部									
電子情報システム学科	4	115	-	460	学士(工学)	1.08	平成3年度	埼玉県さいたま市見沼区 大字深作307番地	H29.4より5名定員増
機械制御システム学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.05	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
環境システム学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.16	平成3年度	同上	H29.4より10名定員増
生命科学科	4	115	-	460	学士(生命科学)	1.12	平成20年度	同上	H29.4より5名定員増
数理科学科	4	75	-	300	学士(数理科学)	1.08	平成21年度	同上	H29.4より5名定員増
デザイン工学部									
デザイン工学科	4	160	-	640	学士(デザイン工学)	1.10	平成21年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号 埼玉県さいたま市見沼区 大字深作307番地	H29.4より20名定員増
建築学部									
建築学科	4	240	-	480	学士(建築学)	1.07	平成29年度	東京都江東区豊洲3丁目7番5号	H29.4 開設
芝浦工業大学大学院									

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院 国際理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
特になし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院理工学研究科においては、FD委員会を設置し、定期的にFD講演会を開催している。他にも、大学院と学部合同で授業手法の改善等のワークショップを開催し、組織的な研修を実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学院理工学研究科FD委員会を定期的に実施している。毎回3分の2以上の委員が参加している。

c 委員会の審議事項等

FD委員会は審議事項を定めておらず、教員の資質向上を目的としてFDやSDに関わる情報を提供している。

② 実施状況

a 実施内容

以下「C 開催状況(教員の参加状況含む)」に記載の通り

b 実施方法（以下「C 開催状況(教員の参加状況含む)」に記載の通り）

以下「C 開催状況(教員の参加状況含む)」に記載の通り

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【大学院理工学研究科主催のFD委員会、FD講演会】

第1701回 大学院理工学研究科FD委員会 「私立大学等改革総合支援事業の選定結果について」 参加者:約16名

第1702回 大学院理工学研究科FD委員会 「大学院設置基準の改正について」参加者:約16名

第1703回 大学院理工学研究科FD委員会 「内部質保証について」「障害を持つ学生の修学支援について」 参加者:約16名

第1704回 大学院理工学研究科FD委員会 「IR報告について」 参加者:約16名

第1705回 大学院理工学研究科FD委員会 「オリンピック・パラリンピックにおける大学連携について」 参加者:約16名

第1706回 大学院理工学研究科FD委員会 「2017年度進路状況報告について」 参加者:約16名

第1707回 大学院理工学研究科FD委員会 「大学院生向け研究倫理教育プログラムに関するアンケート調査結果について」参加者:約16名

2017年度 第1回大学院理工学研究科FD講演会 安全保障貿易管理説明会『先生の研究と技術が世界を駆け巡るために』 参加者:約160名

2017年度 第2回大学院理工学研究科FD講演会 「グローバルPBL構築に関する課題とその解決方法」 参加者:約120名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学院理工学研究科FD委員会委員やFD講演を聴講した教員が、所属専攻の教員にFD委員会・講演内容をフィードバックすることで、教員の授業改善に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートについては、LMSを利用して全授業科目を対象に各期（セメスター・クォーター）に実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

授業アンケートの結果は、担当教員にフィードバックされるとともに、学内者のみが閲覧できるシラバス検索システムで教職員学生が確認することができる

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、学校法人芝浦工業大学評価委員会規程に基づき、点検・評価を実施している。本学では、毎年、大学、各学部・研究科毎に自己点検・評価報告書を作成している。建築学部は、新設学部のため今年度より建築学部の自己・点検評価報告書を作成する予定である。設置の趣旨・目的の達成状況については、今年度から作成する自己点検・評価報告書で自ら検証し、また外部評価委員からの評価・所見をいただく予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年5月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年5月末を予定）：

③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(2018年 7月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを

記入してください。

- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。